

## 4.5.1. 予測調整

GMDH Streamlineが立案した予測を、修正する必要が時折あるかもしれません。例えば、大規模な販売促進や処分セールまたは他のキャンペーンの実施予定がある場合です。このようなイベントは、将来の販売に確実に影響を与えます。しかしこの情報は履歴にないためGMDH Streamlineはこのことを知りません。そこで、ユーザー自身の予測の調整が必要です。

ツリービューのすべての階層で、需要予測調整ができます。

次の手順に従い、統計的予測を調整します。：

1. テーブルビューにて変更対象のノードを選択します。
2. テーブルビューの予測調整行の黄色いセルをクリックします。
3. 新しい値を入力し、**Enter**を入力します。

展開 折りたたみ		2018年10月	2018年11月	2018年12月	2019年1月	2019年2月	2019年3月
すべての品目	販売履歴	2,146	1,633	1,323			
アルコール飲料	統計的予測	1994	1665	1275	1254	970	1219
002661-1 ーダークビール 缶 4...	予測上書き				1300	1500	
東日本	平均販売単価	3.99	3.99	3.99	3.99	3.99	3.99
西日本	売上金額	8,562.54	6,515.67	5,278.77	5,187	5,985	4,863.81
50046-W3L ープレミアムワイ...	欠品日数	0	0	0			
チョコレート							
薬局							
その他							

データ入力後、次の2つが実行されます。：1) **プロットビュー**が更新されます。2) **ツリービュー**内のノードが青文字で表示されます(アプリケーションでは、編集後のデータは、すべて青文字で表示されます。)。再度編集するには、調整されたセルをクリックし、新しい値を入力します。

**プロジェクトの更新**後や**プロジェクトの再予測**後は、予測調整は削除されません。

**レポートタブ**の**予測調整**レポートから、すべての予測調整の要約を確認できます。

	グループ	品目コード	説明	地点	予測上書き								
					2019年1月	2019年2月	2019年3月	2019年4月	2019年5月	2019年6月	2019年7月	2019年8月	
1	アルコール飲料	002661-1	ダークビール 缶 ...	東日本	1,300	1,500							
2	アルコール飲料	002661-1	ダークビール 缶 ...	西日本						400	500	300	
3	衣類	004652-B	水着 青 [季節...	東日本									
4	衣類	004652-B	水着 青 [季節...	西日本									
5	衣類	004662-W	水着 白 (新製...	東日本	109	150	200						
6	衣類	004662-W	水着 白 (新製...	西日本									
7	飲料水	056329-PU	ペットボトル 500...	東日本		1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
8	飲料水	056329-PU	ペットボトル 500...	西日本									
9	チョコレート	120565-MB	ミルクチョコレート...	東日本	700	900	100	1,200	1,000				
10	チョコレート	120565-MB	ミルクチョコレート...	西日本									
11	アルコール飲料	50046-W3L	プレミアムワイン...	東日本									
12	アルコール飲料	50046-W3L	プレミアムワイン...	西日本									
13	薬局	VR2156 200	ピタルレッド 20...	東日本									
14	薬局	VR2156 200	ピタルレッド 20...	西日本									

このレポートは、Excelへエクスポートができます、当然Excelにて編集ができます。さらに、編集内容をExcelに保存後、変更のインポートボタンを利用して、新しい調整値としてGMDH Streamlineにインポートもできます。

## 数式を利用した調整

予測調整では、次の文法に従った数式の予測調整ができます。:

- <演算子>[値] $\square$ +250 $\square$ \*1.2 $\square$ -150などが例になります。 <演算子> が + または - のとき、 [値] は整数のみです<sup>1)</sup>
- <演算子1>[値1]<演算子2>[値2] $\square$ \*3.5+100 $\square$ \*2-50などが例になります。 <演算子1> は、 \* だけが利用できます。 [値1] は整数または小数です。 <演算子2> は、 + または - が利用できます。 [値2] は整数のみです<sup>2)</sup>

数式は、統計的予測行に対応するセル値の関係の操作を意味します。言い換えると、数式から統計的予測を増減できます。

次の手順に従い、数式を利用して予測を調整します。:

1. 必要予測タブを選択します。
2. テーブル ビューの予測調整行の黄色いセルをクリックします。
3. 文法に従い、数式を入力します。
4. **Enter**を入力します。

下記のスクリーンショットにて例を紹介します。

	2018年12月	2019年1月		2018年12月	2019年1月
販売履歴	99		販売履歴	99	
統計的予測	75	83	統計的予測	75	83
予測上書き		+10	予測上書き		93

2019年1月の統計的予測は、**83**です。予測調整行にて **+10** を入力し、その値を増やします。**Enter**入力後、最終的な結果は、**93**になります<sup>3)</sup>

## 分類レベルの調整

ツリービューの分類レベルにて調整をした場合GMDH Streamlineは、子ノード間の比率に従い、葉ノードの調整セルに数式を挿入し、調整値を分配します<sup>4)</sup>。分配アルゴリズムの都合上、入力された調整値がすべて適用されるとは限りません。ですが、入力された値に一番近い値が適用されます<sup>5)</sup>

下記の例では、1月の品目レベルの予測値を **3000** に調整します。各品目は2つの地点を持つため、品目を分類の1つとみなすことができます。

	2018年12月	2019年1月	2019年2月	2019年3月
販売履歴	2,303			
統計的予測		2183	1689	2122
予測上書き		3000		
平均販売単価	3.14	3.14	3.14	3.14
売上金額	7,228.97	6,852.17	5,301.11	6,660.78
欠品日数				

2地点で分配するため、3000が**2999**に変更されました。

	2018年12月	2019年1月	2019年2月	2019年3月
販売履歴	2,303			
統計的予測		2183	1689	2122
予測上書き		2999		
平均販売単価	3.14	3.14	3.14	3.14
売上金額	7,228.97	9,414.01	5,301.11	6,660.78
欠品日数				

ツリービューにて、地点が青文字で表示されています。分類配下の計画品目には、数式として調整値が自動的に適用されています。

The screenshot shows a software interface with a sidebar menu on the left and a data table on the right. The sidebar menu includes options like 'はじめに', '需要予測', '在庫計画', 'レポート', and 'ダッシュボード'. The data table displays sales history and forecasts for various months from 2018 to 2019. A specific cell in the '予測上書き' row is highlighted with a blue border and contains the value '1.374'.

	2018年12月	2019年1月	2019年2月	2019年3月
販売履歴	1,323			
統計的予測	1275	1254	970	1219
予測上書き		1.374		
平均販売単価	3.99	3.99	3.99	3.99
売上金額	5,278.77	6,874.77	3,870.3	4,863.81
欠品日数	0			

## 調整値の展開

数式の最後に > 記号を追加することで、調整値を将来の期間に展開できます。+250>[] \*1.5>[] -150>[] 200> などが例となります。

次の手順に従い、調整値を展開します。:

1. 対象セルをクリックして、編集モードに切り替えます。
2. 数式の最後に、> 記号を追加します。
3. **Enter**を入力します。

値の展開は、右クリックメニューからも実行できます。この場合、**値の展開**コマンドを選択します。

	2018年12月	2019年1月	2019年2月	2019年3月	2019年4月	2019年5月
販売履歴	99					
統計的予測	75	83	84	104	104	110
予測上書き		90			120	
平均販売単価	1.89	1.89			1.89	1.89
売上金額	187.11	170.1			226.8	207.9
欠品日数	0					

A right-click context menu is shown over the table, with the '値の展開' (Expand Value) option highlighted in blue.

値の展開は空欄セルにて実行され、空欄ではない最初のセルで停止します。<sup>6)</sup>

	2018年12月	2019年1月	2019年2月	2019年3月	2019年4月	2019年5月
販売履歴	99					
統計的予測	75	83	84	104	104	110
予測上書き		90	90	90	120	
平均販売単価	1.89	1.89	1.89	1.89	1.89	1.89
売上金額	187.11	170.1	170.1	170.1	226.8	207.9
欠品日数	0					

セルに数式が含まれる場合、値の展開コマンドは、空欄セルに(値ではなく)数式を展開します。展開後の解除は、右クリックメニューのチェックを外すか、セルの数式から > 記号を削除します。

	2018年12月	2019年1月	2019年2月	2019年3月	2019年4月	2019年5月
販売履歴	99					
統計的予測	75	83	84	104	104	110
予測上書き		90 >	90	90	120	
平均販売単価	1.89	1.89	1.89	1.89	1.89	1.89
売上金額	187.11	170.1	170.1	170.1	226.8	207.9
欠品日数	0					

次へ: 予測モデルの調整

PDFダウンロード

1)

翻訳者注釈: GMDH Streamlineの予測値がXのとき、調整値は次の計算式に従います。 X <演算子> [値]

2)

翻訳者注釈: GMDH Streamlineの予測値がXのとき、調整値は次の計算式に従います。( X <演算子1> [値1] ) <演算子2> [値2]

3)

翻訳者注釈: 数式を利用した調整のメリットは、再予測の結果も数式が適用できることです。

4)

翻訳者注釈: GMDH Streamlineの予測値が子ノードにて(100, 200, 500)の組み合わせのときに、親ノードである分類レベルで調整値として1000を入力すると、調整用の数式は、(\*1.25, \*1.25, \*1.25)が設定されます。1.25は、1000/800=1.25から決定されます。2000を調整値とすると、(\*2.5, \*2.5, \*2.5)が設定されます。品目分類、地点分類、チャンネルなどの分類レベルがありますが、どの分類レベルでも、調整値を入力したときの子ノードに分配されます。

5)

翻訳者注釈: 予測値は整数の必要があり、予測値を分配し、再度合計した場合、入力値と一致するとは限りません。

6)

翻訳者注釈: 私たちの例では、2019年4月が空欄ではないセルのため、2019年1月の数式が、2019年2月と2019年3月に展開されます。

From:

<https://gmdhsoftware.com/documentation-sl/> - **GMDH Streamline Docs**

Permanent link:

<https://gmdhsoftware.com/documentation-sl/ja:forecasts-adjustments>

Last update: **2020/09/27 08:38**

